

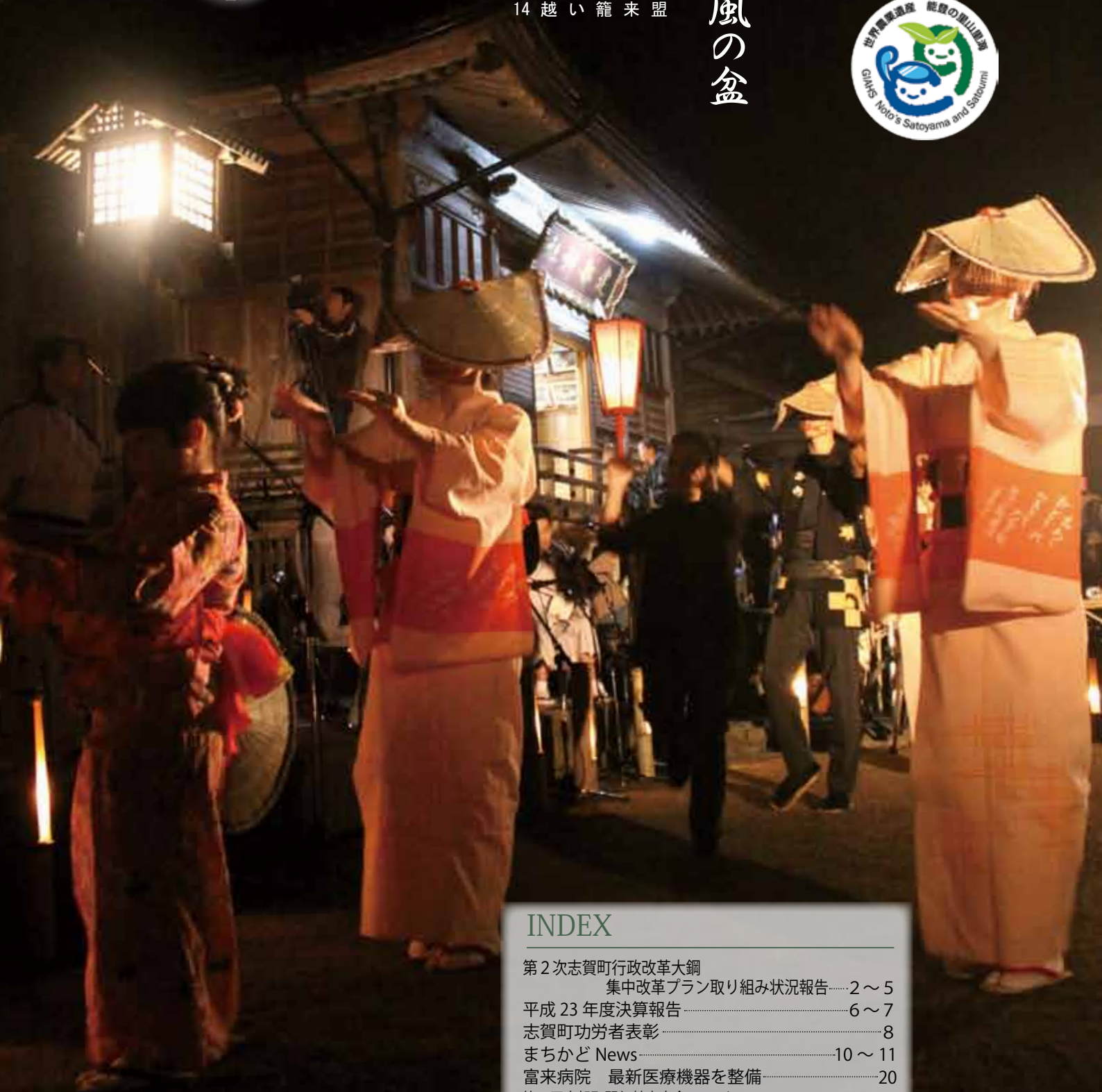


11  
2012  
No. 87



# 竹灯籠と 舞 おわら風の盆

10月13日（土）、地頭町商店連盟  
が建部神社（富来地頭町）で「富来  
万灯祭 和の夕べ」を開催。竹灯籠  
約500本が並べられ、やわらかい  
光に包まれる中、富山県八尾市の「越  
中八尾おわら風の盆」の踊り手約14  
人が、舞を披露。



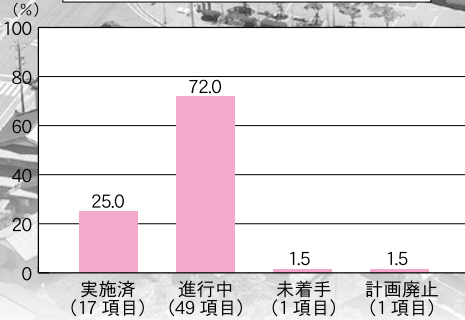
## INDEX

第2次志賀町行政改革大綱	
集中改革プラン取り組み状況報告	2～5
平成23年度決算報告	6～7
志賀町功労者表彰	8
まちかど News	10～11
富来病院 最新医療機器を整備	20
第7回志賀町駅伝競走大会 ～Photo Report～	28



# 第2次志賀町行政改革大綱・集中改革プラン 平成23年度の取り組み状況を報告します

計画全体（68項目）の達成率



町では、平成22年度から26年度までを推進期間とする第2次行政改革大綱・集中改革プランに基づき、中長期的に持続可能な健全財政の確立を目指した、68項目の行政改革を進めています。

取り組みの2年目となる平成23年度は、「未利用財産の売却」、「有料ごみ袋制度の導入」、「定員管理の実践と職員給与の削減」などの実施により、約6億3,900万円の財政効果がありました。

今回は、主なプランの取り組み実績についてお知らせします。

## 1 健全財政の確立

進行中

### 基金の積立

財政調整基金(\*1) 1億800万円  
減債基金(\*2) 6億4,000万円  
特別財政基金(\*3) 2億1,500万円

をそれぞれ積立しました。

基金残高（貯金残高）

基金名	平成22年度末	平成23年度末
財政調整基金	20億4,976万円	21億5,841万円
減債基金	4億199万円	10億4,209万円
特別財政基金	30億3,066万円	32億4,591万円
地区自治振興基金(*4)	6億9,557万円	5億4,606万円
その他	40億4,746万円	41億3,839万円
合計	102億2,544万円	111億3,086万円

進行中

### 町債の繰上げ償還(\*5)の推進

将来の利子負担の軽減を図るため、町債2億2,900万円の繰上げ償還を実施しました。

町債残高（借入金残高）

会計名	平成22年度末	平成23年度末	
一般会計	147億2,744万円	133億6,414万円	
特別会計	ケーブルテレビ	28億7,577万円	27億7,318万円
	農業集落排水	46億6,457万円	45億2,568万円
	公共下水道	64億5,338万円	64億6,289万円
	地域し尿	2億7,405万円	2億6,657万円
	簡易水道	1億65万円	9,199万円
企業会計	水道	22億5,017万円	21億1,930万円
	病院	22億4,588万円	21億2,405万円
合計	335億9,191万円	317億2,780万円	

\*1 財政調整基金

突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置される基金です。

\*2 減債基金

町債（借入金）の償還（返済）の増加に備えるために設置される基金です。

\*3 特別財政基金

地域振興施策に充てるための基金です。

\*4 地区自治振興基金

志賀地域の各地区における自治活動を促進し、コミュニティづくりの推進を図る事業に充てるための基金です。

\*5 繰上げ償還

町が国や金融機関などから借り入れた資金を繰上げて償還を行うことにより、後年度の金利の負担を軽減することです。

**進行中**  
公有財産管理業務の適正化

公有財産台帳のデータ整備を推進するとともに、売却可能資産を調査の上、保有財産を売りました。

土地の売払い（54件）  
4,418万円の収入



**進行中**  
CATV事業の経営健全化

引込工事の受益者負担の見直しを検討するため、アンケート調査を実施しました。



インターネット加入を促進するための広報および加入促進キャンペーンを実施しました。

ケーブルテレビ加入 169件 累計8,286件  
インターネット加入 199件 累計2,053件  
(平成24年3月末現在)

**進行中**  
町営住宅管理の適正化

政策空家の実施により、領家町第1住宅（1棟2戸）を取壊し、一部の借地を解消しました。公の施設のあり方の見直しに併せて、富来地域の借地解消に向けた取り組み方針を策定しました。

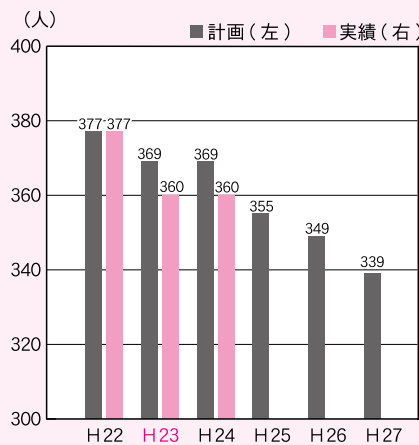
**2**  
スリムな行政執行体制の構築

**進行中**  
第2次定員適正化計画の実践

◆一般職

早期退職者の増加と新規採用の抑制により削減

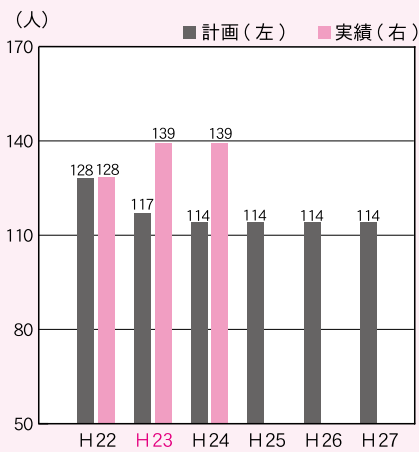
一般職員数の推移



◆臨時職員

保育士の早期退職、看護体制基準の見直しなどのほか、地上デジタル化対応、ファミリーサポート事業などの新規事業に対応するため増員

臨時職員数の推移



**進行中**  
健全経営の確立

健全な経営体制を築くため、引き続き支援・指導を行いました。

平成23年4月にホームページを開設し、指定管理施設の紹介および決算状況を公表しました。

**進行中**  
給与制度適正化の推進

民間企業の給与水準を考慮し、人事院勧告に準拠した給与水準とすることで、人件費の適正化を推進しました。

町長給与の10%、副町長・教育長給与の5%、一般職給与の3%を1年間それぞれ削減しました。(病院などの医療職を除く)

**実施済**  
社会福祉協議会の経営改革の推進

平成22年度の補助金の見直しおよび給与規定の改定に基づく経営改革を推進しました。

効率的な組織体制を確立するため、定員管理計画を策定するとともに、役員報酬を見直し、減額しました。

**進行中**  
シルバー人材センターの経営改革の推進

平成24年4月2日に公益社団法人へ移行するための事務手続きと準備を行いました。

他自治体の状況を調査し、年会費の見直しおよび自主事業の実施について検討しました。



### 3 公正の確保と透明性の向上

進行中

#### 住民意見の積極的な活用

◆**タウンミーティング**  
各地区（16地区）で開催し、住民の皆さんの意見を聴きました。

#### ◆町長談話室

毎週水曜日の午後には役場本庁舎と富来支所で交互に開催しました。

#### ◆まちづくり委員会

まちづくりに関する提案事項を企画、検討するため、7回の委員会を開催しました。（平成24年3月の任期満了をもって解散）

### 4 住民サービス実施方法の見直し

進行中

#### 公の施設のあり方の見直し

効率的で効果的な施設のあり方を見直し指針を策定し、対象となる148施設の現状を調査、分析の上、将来に向けたあり方を検討しました。

平成24年度は、見直し方針を決定の上、順次見直しに向けた取り組みを推進する予定です。



▲公民館への移行が検討された  
コミュニティセンター

実施済

#### 各種イベントの見直し

夏の「やっちゃん祭り」に加えて、新たに冬の食をテーマとした「大漁起舟祭」を町祭として開催しました。  
富来地域で開催の「ふるさと夏まつりin増穂浦」を町から民間主催の事業に移行しました。



▲2月に開催した「大漁起舟祭」

実施済

#### 定住・定着事業の再編・見直し

結婚祝い金制度の廃止  
40歳未満の婚姻した人に、5万円の祝金を交付する制度を廃止しました。  
出産祝い金制度の見直し  
第3子以降を出産した人に、30万円の祝金を交付する制度でしたが、第1子5万円、第2子10万円、第3子以降15万円の交付額に見直し、地域振興を図るため、商品券での交付に変更しました。

進行中

#### 公立保育園の統廃合の推進

保育所適正配置計画に基づき、平成24年度をもって、上熊野、加茂、下甘田保育園を廃止し、平成25年度をもって、ますほ保育園を廃止する方針を、保護者説明会などの開催により周知しました。

### 5 財源の適正配分と受益者負担の見直し

実施済

#### 次世代育成助成制度の廃止

複数園児の通園に対する保育料の減額など多子世帯の支援制度が充実しているため、制度を廃止しました。

#### 次世代育成助成制度…

2人以上の子を養育し、かつ2人目以降の子が保育園に入所した場合、保護者に月額3,000円を上限に保育料を助成。

実施済

#### インフルエンザ予防接種事業の受益者負担の見直し

平成23年4月から、接種者1人あたり1,000円の負担金に見直しました。  
がん検診事業の受益者負担の見直し  
平成23年4月から、検診の種類に応じた負担金に見直しました。

実施済

#### 有料ごみ袋制度の導入

平成23年10月から、可燃ごみシールの有料化（1枚あたり30円）を実施しました。

実施済

#### 志賀町土地改良区の経営健全化

土地改良区組織の運営を安定させるとともに、土地改良事業の推進、土地改良施設の適正な維持管理のため、経常賦課金を見直しました。

# 経費節減などの財政効果

平成23年度 6億3,948万円の財政効果額の実績

第2次集中改革プラン(平成22年度～平成26年度)の68項目を実施した結果、経費の節減によって生まれた財政効果額を取りまとめました。

主なものについては、計画前の平成21年度決算額を基準とし、実施期間中の各年度の決算額と比較して算出しています。

区分	取組事項	実施内容	財政効果額(平成21年度比較)	
			平成22年度	平成23年度
収入	支所全体の有効活用	支所2階の空きスペースの貸付による 使用料の増加	22万円	22万円
	CATV事業の経営健全化	ケーブルテレビ・インターネット 加入促進による使用料の増加	189万円	353万円
	有料ごみ袋制度の導入	可燃ごみシール有料化による販売収入の増加 (平成23年10月～1枚30円)	—	260万円
	公有財産管理業務の適正化	未利用財産(土地)の売払い収入の増加	1,081万円	4,418万円
支出	第2次定員適正化計画の実践	定員管理による人件費の削減 職員数を17人削減 377人→360人	1億6,193万円	3億8,287万円
	給与制度適正化の推進	一般職給与の3%削減 (病院などの医療職適用者を除く)	—	5,144万円
		特別職給与の削減 町長10%、副町長・教育長5%削減	—	233万円
	議員定数および議員報酬の見直し	議員定数および報酬の削減 定数18人→16人、報酬10%削減	—	1,538万円
	(株)志賀町振興サービスの健全経営の確立	経営改善による指定管理料の削減	3,359万円	5,376万円
	借受財産(土地)の解消	行政財産の取壊しなどにより借地を解消 領家町第1住宅(1棟2戸)の取壊し	53万円	62万円
	補助金の見直し	167補助金の見直しを実施	—	3,703万円
	全期前納報奨金制度の廃止	制度廃止に伴う財政負担の軽減	774万円	774万円
	がん検診事業の受益者負担の見直し	受益者負担の徴収による検診委託料の削減	—	833万円
	インフルエンザ予防接種事業の受益者負担の見直し	受益者負担の徴収による 予防接種委託料の削減	—	762万円
	配食サービス事業の受益者負担の見直し	受益者負担の見直しによる 地域自立生活支援事業委託料の削減	272万円	458万円
	申告相談の会場およびサービス内容の見直し	職員の超過勤務手当の削減	49万円	167万円
	地方債の繰上げ償還の推進	将来の利子負担の軽減	419万円	1,507万円
支所全体の有効活用	支所清掃業務の見直しによる 維持管理経費の削減	54万円	51万円	
合 計			2億2,465万円	6億3,948万円